

## 令和6年能登半島地震 日報

日付け	内容
1月1日	石川県能登地方に最大震度7(マグニチュード7.6)の地震が発生
	能登地方の正副支部長宛に安否確認メールを送信
	被災管区の災害対策支部長を通じて、被害状況の調査を開始 石川県第2部大句哲正宗務所長の自坊が倒壊しているとの報告あり
1月2日	当該宗務所副長の井前本隆師が窓口として対応
	被災地内のA寺院が支援物資の受け入れを開始
1月4日	A寺院が支援物資の受け入れを一旦停止(人手不足により配布が困難となったため)
	B寺院にて支援物資の受け入れ開始
1月5日	石川県第2部宗務所管内の教師全員の無事を確認
	災害対策会議委員に上記の旨、メールにて報告
1月6日	全国の宗務所長に石川県第2部宗務所管内教師の無事をメールにて報告
1月10日	災害対策本部会議(内局会議)開催
	御用始めにおいて、倒壊寺院に対する支援の意思を表明
1月11日	災害対策本部会議(内局会議)開催
	「大規模災害」の指定及び災害義援金の実施を決定
	全管区にFAXにて下記書類を一括送信 「令和6年能登半島地震」大規模災害指定並びに災害義援金勧募の件
1月12日	全国の災害対策支部に下記書面を通達
	①「令和6年能登半島地震」大規模災害指定について
	①罹災寺院状況報告書(実施要綱添付書類)
	②大規模災害指定に伴う建物災害見舞金給付申請
	③大規模災害時における建物災害見舞金給付申請の注意点について
	④「令和6年能登半島地震」における檀信徒被害報告書
	②「令和6年能登半島地震」大規模災害指定に伴う災害義援金勧募に関する協力をお願い 「災害義援金の勧募方法について」
①勧募期間は、和6年1月11日(木)から令和6年12月末日まで	
②勧募期間中、計3回の締切(第1回4月末、第2回8月末、第3回12月末)を設け、 その締切時点までの寄託額を基準に随時配分を検討	
③災害対策支部にて管内の浄財を取り纏めの上、災害対策本部に送金	
④芳名は、日蓮宗新聞に対策支部名と金額を掲載 但し、個別に送金された場合は、個人名のみ記載	
⑤義援金箱注文書を同封	
災害義援金勧募の旨をポータルサイトに掲載	
石川県第2部の被害状況をポータルサイトに掲載	
B寺院での支援物資の受け入れ停止(人手不足)の旨、ポータルサイトに掲載	
1月16日	【第1回 災害対策会議開催(オンライン)】 支援物資助成の告示内容確認。支援対象期間「令和6年1月1日から令和7年3月31日まで」確認
	新潟県西部の被害状況をポータルサイトに掲載

## 令和6年能登半島地震 日報

日付け	内容
1月22日	畑災害対策副本部長が暫定の宗務所事務所(1013妙法輪寺)へお見舞い。見舞金30万円をお渡しする。
1月23日	石川県第2部大森宗務担当事務長が来院し、被災報告及び宗門支援内容等を確認。
1月24日	石川県第1部の被害状況をポータルサイトに掲載
1月29日	財務部より宗費未納通知とともに減免申請関連書類(所長一括用・特別に作成)を送付
	富山県の被害状況をポータルサイトに掲載
1月31日	新潟県北部の被害状況をポータルサイトに掲載
2月1日	新潟県東部の被害状況をポータルサイトに掲載
2月2日	石川県第2部大句所長と連絡を取り、所長業務を段階的に受け入れていく旨を確認。
2月7日	【第2回 災害対策会議開催(オンライン)】
2月27-28日	現地視察を実施(中能登～奥能登地域16ヶ寺)
3月1日	「勧募活動へのお願い(追伸)」を全国宗務所に送付
3月末日	被災地以外の地域における被害報告がないことを確認
4月9日	田中災害対策本部副本部長による現地見舞い及び視察を4ヶ寺実施(珠洲市～鳳珠郡～輪島市)
4月10日	本山妙成寺にて石川県第2部管内教師への事務説明会を実施(約20名参加)
	檀信徒向けご本尊100体を妙法輪寺(宗務担当事務長自坊)宛に送付
4月15日	富山石川宗勢懇談会にて管内教師への事務説明会を実施(約50名参加) 於 ホテルニューオタニ高岡
5月15日	【第3回 災害対策会議開催】
	・被災地の現状説明のため、以下のオブザーバーを招聘 石川県第二部大句所長・栗原啓允師(選挙区宗会議員)・石原顕正師(NPO法人アース理事長)
	・災害義援金の配分方法を検討(4月末日寄託額76,098,700円)
	・建物災害見舞金給付(4ヶ寺)検討